

製品名: CIP4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85435**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 80 kDa

抗原情報

遺伝子名	CIP4
別名	STP; CIP4; HSTP; STOT; TRIP-10
遺伝子 ID	9322.0
SwissProt ID	Q15642
免疫原	ヒト Cip4 の合成ペプチド

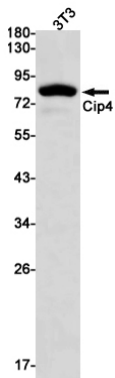
背景

インスリンシグナル伝達にตอบสนองして GLUT4 が細胞膜へ移行するために必要である。エンドサイトーシス中にアクチン細胞骨格の再編

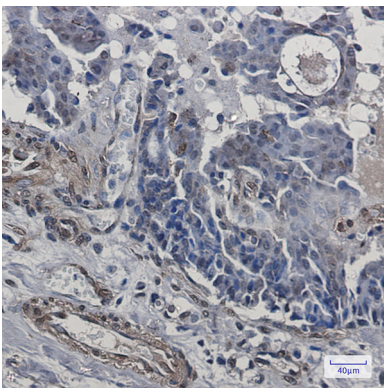
成と膜管状構造の調整に必要である。ホスファチジルイノシトール 4,5-ビスリン酸やホスファチジルセリンなどの脂質に結合し、膜陥入および管状構造の形成を促進する。また、WASL/N-WASP をリクルートすることで CDC42 誘導性アクチン重合を促進し、Arp2/3 複合体を活性化する。アクチン重合は膜管の分裂を促進し、エンドサイトーシス小胞を形成する可能性がある。単球由来細胞に特有のアクチンに富む接着構造であるポドソームの形成に必要である。FASLG/FASL のリソソーム保持に必要である可能性がある。

研究分野

画像データ



CIP4 抗体を使用した 3T3 溶解物中の Cip4 のウエスタン プロット分析。



Cip4 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。